PICKIN' SINGIN' Rocky Top GINZA かわら版 第48号

'99, 11, 13 発刊

Yeah! マネージャー No.7
～懐しのブルーリッヂの巻～
作 チーフ井上

おわり

拝啓 November

急に寒くなってきました。夏が
遠去かり、冬がすぐそこへ…
そして今年も暮れていくんだな。
何をつかんだとか 何を失ったとか
たいして気にとめず、季節だけが流
れていくのひと。色んな気持を味わい
ながら…

今月の田口マスターの動き
～宝くじ当てる！そしてスピード違反へ、怒りのパチンコ～

ロンサムだよ

今まで一度も300円以上当てたことがなかった念願の宝くじでついに当たりを引いた！東京都の宝くじで、1枚500円をうやって5,000円をGetしかし10枚ぐらい買ったはずなので結局チャラと読んだ。それでも当てた喜びに酔いしれ、鼻歌まじりに車を飛ばしていたら、なんと派出所の前でねずみ取りをやっていて、見事にGetされ、罰金18,000円をつきつけられた。あまりの怒りにパチンコで取り返してやる～！と近くのパチンコ屋に乗りこんだが、40,000円もすってしまい、悲しい一日になってしまった。疲れ果てて部屋に戻り、灯りをつけても待つ人はいない。あ～～ハイロンサム！田口マスターこそ真の生きるブルーグラッサーだ。

彼女募集

エヘヘヘ

面食いかつ不器用という悲しい資質の持ち主

条件は、40才以下で明るく元気で家庭的で頭が良くて、セクシーな人！
（そんな奴いねーよ）

来年は本厄の田口マスター、一対彼の身に何が起きるのか？かたずをのんで見守るのみだ!!

カントリーな人達 ～Meet the country music～

カントリーとの出会いを通してカントリーを考えるこのコーナー。今回は女性シンガーとして独特な位置で活動を続けるケイコウォーカーに話をきいてみました。母親がイギリス人ということで子供の頃から英語に慣れ、日本のアメリカンスクールに通った。そんな環境の中、彼女にとってカントリーとは何なのだろうか？

→母が笑のカントリー好きで生まれた時から子守り唄を含め（思い出のグリーングラスが子守り唄）いつもカントリーが流れていた。しかもおじが、カントリーシンガーで、子供の頃から母と一緒にライブハウスに通い、おじの演奏をきいた。車の中でもカントリー、とにかくカントリーのない生活はありえなかった。日本の音楽やTVもたまにはふれたが、ほとんど素通りしていた。しかしピンクレディーだけはアメリカンスクールでも爆発的にはやり、歌は歌えないが踊りだけは真似した。ケイコなのでケーちゃんの役をやったもうだ。（UFOを踊るケイコウォーカーを見たい！）子供の頃はおとなしいタイプだった。学校から帰ると家でカントリーのレコードもかけて歌うのが唯一の楽しみだった。はじめて好きになったのはタミーワイネット。離婚など大人っぽいテマの歌をなんしなく歌っていたのが自分が大人になると「何てハビーなんだろう」とショックを受け、それから歌えなくなってしまった。中学までは家で歌うだけだったが、カントリー業界では、よく母と一緒に見に来る父の子ということで有名だった。高校生になった時、金平隆さんが「ちょっと歌ってみなよ。」とステージに引っぱったのが全ての始まり。そのままテキサスカンパニーに入り、いきなりプロとしての活動が始まった。ギターも練習し、エミルハリスの「Born to run」が最初に弾いた曲。しばらくするとGibson-J200を手にし、とにかくエミルハリスを追求していった。（子門真人さん仕様が一人のミュージシャンをとことんコピーしてみなよ！とヒントをくれた。）その後、六本木のミスタージェームスでしばらく箱バンをやった後本当に自分のやりたいバンドを作ろう！とホットストリートバンドを結成し、現在にいたる。ケイコさんはシンガーというよりバンドマンの一員として歌うというのがいいらしい。今は半編で楽しい。ひらめきに任せてこれからもやっていく。とのことです。ひらめきの一つとして今度シメさんと「Broken Ashes」というユニットを作り、素晴らしいデュエットをきかせる。ケイコさんにとってカントリーはまさに人生そのものといった感じ。自然体でしなやかに、いつまでも歌い続けて下さい！→12/8「Broken Ashes」のCDが発売されます

チーフ井上の沖縄旅行記

今回の旅行で宮古島の伝統儀式「おヒーリ」という酒の一気大会を初体験した。これは例えば6人いるとしたら一人一人がつぎ役になり、その人がいだ酒を全員が一気。6人全員がつぎ役をしたところで終わるというそうゆうものだ。宮古のおっちゃん達と飲んだのだが、おっちゃん達は若い頃から数えきれないほど「おヒーリ」をやってきたので、飲み方がうまい。グラスの酒（泡盛の水割り）をまさに1杯で飲み干すのだ。俺が2回に分けて飲んだりすると、「井上さん、そうやって飲むと酔うよ。ぱっ！と飲めば大丈夫さ」とわけの分からんことを言い、かと思うと、「井上さん、お酒は味わうためにあるんじゃない。酔うためにあるんだよ」と。9月5:00～夜中の2:30まで5、6回のオヒーリを8人ほどで行い、さんざん酔って三線で歌って踊った。翌朝、もちろん2日酔いだった。しかしおっさん達は優しく、ジュースを持ってきてくれ空港まで車で送ってくれておみやげ（小重山そば）まで持たせてくれた。「お名前は？」ときくと、「名前はないよ…ゴンベーさ」と言ってブーンと去っていった。見返りを求めない、さりげない優しさに青い空がよく似合っていた。

バンジョー越田 合コン成功せず！

ブルーグラスロボ2号越田くん（1号はウィルビーの増田さん）が、このたびなんと、丸紅商事主催で弁護士事務所の女の子達との合コンに参加し見事に敗退した。「基本的に話が合わなかったね」とは彼の弁だが、そんな事は始めから分かっていたはずだ。だが出会いを求めて果敢にアタックする姿勢を大切にしよう。そして次の合コンには田口マスターも誘ってあげて下さい。

チーフ井上とフォークグリラボーイズのCDが出ます！

1stアルバム「100万回愛してる」が11/30にリリースされます。¥2,500（税込みです。来年はこれを引っ下げて演奏ツアー、そしてフェス回りでいそがしくなりそうです。ロッキーにも置くので是非買って下さい！

Broken Ashes（Shimeさんとケイコウォーカーのユニット）のCDがアルバムタイトルも同じで12/8発売されます。2人の好きなカントリーソングからビートルズなど素晴らしいハーモニーを聴かせてくれます。

Pick Up Live!

11/11(木) Shady Mix…スマの外タレです。ドイツから女性ブルーグラッサーでシンガーソングライターのウィルとマンドリンのマークがやってきます。ドブロに小島さんが特別参加。¥2,000 予約受けつけます。

11/20(土) Rocky Mt. Chambers 多摩バンド
若手女性ボーカル期待の星小野まりこ。最近MCもとり楽しく元気なステージを展開しています。それにいぶし銀の多摩バンドおっさん達のスケベなブルーグラスもいいぞ～

12/4(土) チーフ井上とフォークグリラボーイズ、ラルフルズ
こってりトンコツラーメンに濃厚バターを加えたような企画。今年の箱根の人気投票No1ラルフルズとコンベンションNo1のチーフ井上のジョイント。当日はコンベンションひろた「どこへ行くブルーグラス」も歌います。CD発売後の初ライブ。当日即売いたします。よろしく！